

商品インデックス

トン当たり 890 ドル

アジア地域のエチレン市況は、しばらく回復に転じる要素が乏しい状況が続きそうだ。石油化学コンサルティ

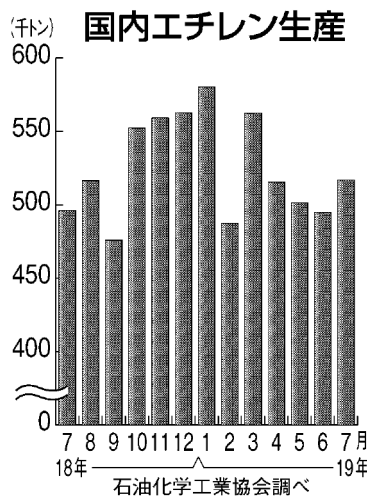
エチレン

ングのクリークス（横浜市中区）が新規プラントを稼働させたほか、停止していた石炭ベースのエチレンプラントが再稼働を再開した。9月第1週を下げ、9月に少し値を戻して同890ドルとなっている。アのエチレン価格はト 4日に発表された8月の財新中国非製造業購買担当者景気指数

アジア需給に緩み

市況回復要素乏しく

た。直近1カ月のエチレン価格の動きは、7月中旬の同840—810ドルから8月中旬の同840—810ドルに回復した。中国のSPケミカル80ドル、直鎖状低密度エチレンの需給が緩み、低密度ポリエチレン（LDPE）は同810ドル、高密度ポリエチレン（HDPE）の価格は同900ドルに回復した。PMIの上昇を受けて、原油価格とナフサ価格は反発したが、要も振るわない。9月通常は連動して上がる第1週時点で、高密度は同900ドル、低密度は同810ドルに回復した。エチレンの需給が緩み、低密度ポリエチレン（LDPE）は同810ドル、高密度ポリエチレン（HDPE）の価格は同900ドルに回復した。



「ではないか」（小川代 表）とみる。米国による第4弾の対中関税の対象は最終製品が中心で石化製品への荷動きに直接関係しないが、米中貿易摩擦の激化は経済減速につながる。高稼働率を維持 一方、国内生産のエチレンは内需が中心のため、アジア市場の悪